

平成 18 年 7 月 10 日

舞台芸術交流センター 愛称：『あうる すぽっと』に決定！

～舞台芸術の殿堂に！文化・芸術創造と情報発信の拠点！～

区は現在建設中の（仮称）東池袋交流施設の施設名称ならびに愛称を決定した。交流施設は東池袋四丁目再開発ビル内（東池袋四丁目 82 番の 10、業務棟 15 階建 2、3 階部分）に整備中で、ほかに「新中央図書館」も併設され、副都心池袋の利便性の高い立地条件を活かし、新しい 2 つの施設が連携し文化・芸術創造・情報発信の拠点を形成するもの。交流施設は平成 19 年 9 月、新中央図書館は同年 7 月に開設予定。

【施設名称】 豊島区立舞台芸術交流センター

舞台芸術を通じた区民相互の交流の場として、まちなぎわいと地域の活性化を図る目的から命名した。

【愛称】 あうる すぽっと

梟（ふくろう）「OWL」は知恵の象徴の鳥で、区とは古くから縁のある鳥である。江戸時代に雑司が谷の鬼子母神界隈で生産された郷土玩具「すすきみみずく」はススキで作るみみずく＝梟の形をしたおもちゃ。そして、「OWL＝あうる」という音は「逢うる（皆が逢える、集える）」と聞こえる。

また、301 席ある劇場は、シアターを名乗るには小規模であり、むしろ舞台と客席の距離が近く、役者の息遣いや表情の変化などの細々としたところまでを全ての観客が一体感をもって感じる事が出来る場所として「SPOT＝場所・地点」とした。

舞台芸術活動をきっかけとして、多くの人々が集い、区民相互の活発な交流が図られる拠点として、これらをあわせて「あうる すぽっと」とした。

愛称は本年 5 月 1 日～6 月 5 日まで一般から募集し、全国から 309 件の応募があった。

内訳は区内 78 件、都内 119 件、他道府県 112 件、最年少は 16 歳、最高齢者は 84 歳。

決定の経緯は東池袋交流施設開設準備委員会による一次選考で 79 件を選び、その後、事務局による同一名称、類似名称の調査を行い対象から除外する作業を行った。高野之夫豊島区長、小田島雄志豊島区芸術顧問等による愛称選定委員会により 6 件に絞込み、愛称の考え方、コンセプトの整理を元に最終確認を行った。その結果、入選該当者はなしとしたが、佳作の 6 件を合作し、選定委員会が決定した。

關慎吾文化施設計画担当係長は「当施設の利用にあたっては、5 日以上公演を含む連続使用を優先的に受け付けることが特色です。これにより、質の高い活発な上演活動が展開され、豊島区の文化発信の殿堂として区民の皆さんやアーティストに親しまれ、愛される施設になることをめざしていきます」という。

（施設概要は別紙①②）

問い合わせ：文化施設課文化施設計画担当係

舞台芸術交流センター 愛称：『あうる すぽっと』について

1. 事業運営

基本方針 文化・芸術創造・情報発信の拠点として、質の高い、優れた舞台芸術作品を鑑賞する機会を提供するとともに、にぎわいの創出とまちの活性化を図る。

(1) 事業運営の視点

- ・文化・芸術の創造・発信拠点をつくる
- ・文化・芸術の担い手を育成する
- ・池袋副都心のにぎわいを創出する
- ・区民が気軽に集い、楽しめる環境をつくる

(2) 事業概要

副都心池袋の利便性の高い場所に立地している特性を生かし、文化創造・発信の拠点として、区の文化力向上をめざした事業を展開する。

区内の他の文化施設との役割分担を考慮しながら、より良質の舞台芸術にふれる機会を提供する。

	事業例
創造事業	<ul style="list-style-type: none"> ◆ オリジナル作品の制作・上演 ◆ 良質な舞台芸術の鑑賞公演 <ul style="list-style-type: none"> ・内外の優れた文化芸術団体や芸術家の招聘による公演 ・提携公演、共催公演
育成事業	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 舞台芸術に関する各種ワークショップ ◆ ボランティアの育成・支援 ◆ アウトリーチ活動（学校、児童施設等と連携） ◆ 中央図書館との連携事業 ◆ 情報発信事業等
施設提供事業	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 劇団、文化芸術団体等の公演利用等への施設提供 ◆ 区民等の自主的な活動への施設提供

(3) 施設提供の基本的な考え方

- ① 文化芸術創造・発信拠点として、まちのにぎわいを創出し、地域コミュニティの活性化をめざす本施設の特性を生かすため、創造・育成事業など、自主事業での利用を優先する。
- ② 施設提供にあたっては、優れた文化・芸術活動を誘導し、より質の高い活発な上演活動が展開されるよう、5日以上長期連続使用を推奨する。

(4) 開館時間・休館日

- ① 開館時間 午前9時～午後10時
ただし、午前9時以前の搬入や、撤去作業の遅延等、状況等に応じて、時間外の使用も可能とし、柔軟に対応する。
- ② 休館日 年末年始（12月29日～1月3日）
※利用希望があった場合は、特例について、別途、検討する。

上記の他に、設備・舞台機構等の保守点検整備等のため必要に応じて年間10日程度を休館日とすることができる。

2. 貸出施設

■施設構成と貸出施設

2階 (劇場部門)	劇場	<ul style="list-style-type: none"> ● 演劇を中心とした舞台芸術の創造・発信活動の場（ブラックボックスを基本とした空間） ● 客席数301席 ● 舞台は幅6間（10.8m）×奥行6間（10.8m） 客席約250㎡ 舞台約200㎡
	展示スペース (ホワイエ)	<ul style="list-style-type: none"> ● 劇場利用時にはロビー、ホワイエとして機能 ● 展示スペースとして単独利用も可 ● 上演後のパーティースペースとしても利用できる 約200㎡
	調整室	● 舞台照明や音響等の操作、調整を行うスペース 約30㎡
	舞台備品庫	● 舞台大道具等の備品を収納する倉庫 約75㎡
	楽屋	● 出演者の控え室 約25㎡×2室 約70㎡×1室
3階 (支援部門)	大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ● 70～80名程の会議等の集会機能 ● 部屋を分割し、小規模な会議室としても利用できる 約180㎡
	会議室	● 20～30名程会議等の集会機能 約60㎡
	サポーター室	● ボランティア等が日常的に集まり、運営スタッフを補助するスペース 約45㎡
	音楽・映像編集室	● 舞台上で使用する音源・音楽・映像の編集スペース 約12㎡×2室
	事務室	● 施設の運営スタッフの執務スペース 約20㎡



劇場 イメージ



ホワイエ イメージ